

「第二次岸田内閣発足」



こばやし たか ゆき

# 小林鷹之 からの手紙

経済安全保障担当大臣  
内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙)  
衆議院議員

## 小林鷹之国政報告



討議資料

自民党千葉二区支部小林鷹之事務所発行  
(千葉県花見川区・習志野市・八千代市)

🌐 [kobayashi-takayuki.jp](http://kobayashi-takayuki.jp)

✉ [info@kobayashi-takayuki.jp](mailto:info@kobayashi-takayuki.jp)

🐦 [twitter.com/kobahawk](https://twitter.com/kobahawk)

📘 [www.facebook.com/hawk.kobayashi](https://www.facebook.com/hawk.kobayashi)



閣僚呼び込みの電話を受ける



総選挙後の初登院



経済安全保障法制準備室設置に伴う看板かけ。自筆です



フジテレビ「日曜報道THE PRIME」

テレビ出演や取材が増えました。



テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」



国内外のメディアから取材

**小林鷹之 Profile** 東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。財務省課長補佐、外交官を経て現在衆議院議員4期目。経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣(科学技術・宇宙)。

## 後援会に入会しませんか 会費無料

- 各種行事のご案内
  - ファックスマガジン、メールマガジンを配信
- お申込み、お問い合わせは、電話(地元事務所)、メールまたはホームページからお願いします。  
(既に後援会会員の方でメールアドレスを未登録の方は、地元事務所までご連絡下さい)



地元事務所 〒276-0033 千葉県八千代市八千代台南1-3-3 山萬八千代台ビル1階  
TEL047-409-5842 FAX047-409-5843

国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室  
TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

朝の駅頭や週末の街頭活動は続けています。



衆議院選挙では、同僚の応援に全国を回りました



北海道から



大臣記者会見は  
こちらからご覧ください。  
<https://bit.ly/3DDGBwh>



九州まで

## 「第二次岸田内閣発足」

総選挙が終了し、11月10日に第二次岸田内閣が発足。引き続き、経済安全保障担当大臣、内閣府特命担当大臣（科学技術、宇宙政策）を拝命し、公務に精力的に取り組んでいきます。

十月の総選挙は、私にとつてこれまでの三回の選挙とは大きく異なり、大臣公務と全国への選挙応援のため、初日の出陣式を含め、私本人が地元へ殆ど入れない中で、苦しい選挙戦でした。しかし、多くの皆様に支えて頂いたお陰で、15万3,017票を頂くことができました。全国約300ある小選挙区の中で上位6番目となる得票数。身の引き締まる思いで国民の皆様のために公務に邁進すると共に、国政の立場から地元の課題についても取り組めます。

今回の手紙では、私が拝命した担務について簡単に紹介いたします。

### 【経済安全保障担当大臣】



岸田内閣において新設されたポスト。「初代」大臣となります。経済安全保障とは、一言で言えば、「経済面から国の独立、生存及び繁栄を確保すること」です。

例えば、コロナ禍で露呈したマスクや医療器具の供給網の脆弱性や、国産ワクチンの開発やデジタル化の遅れなどへの対策。国際社会の関心事である半導体の確保策や先端技術・データの海外流出の防止策。このような直近の課

題に加え、日本が世界にとって必要不可欠な国になるための政策など、多岐に亘る課題が含まれます。そして、他国の動向に右往左往することのないよう、わが国自身の基軸となる考え方を打ち出していきたいと考えています。皆様の日常生活や命を守り、わが国の未来を切り拓くために、私自身が先頭に立って頑張つてまいります。

まずは、経済安全保障に関する法整備を急ぎます。先日、「経済安全保障推進会議」という閣僚クラスの会議体と、内閣官房に法制準備室を立ち上げましたので、準備を加速します（なお、同準備室の看板は、私自身が気持ちを入れて筆を取りました）。

### 【科学技術政策担当大臣】



岸田内閣の成長戦略の第一の柱が「科学技術立国」の実現です。真鍋淑郎先生によるノーベル賞の受賞など明るい話題もありますが、日本の置かれてある現状は厳しいものがあります。世界における日本の大学ランキングや論文数などあらゆる指標が低下の一途を辿っており、わが国の科学技術・イノベーションが岐路に立たされています。

その原因の一つが若手研究者の大学離れ。研究資金やポストがないためとも言われています。研究者の件数や最新の機器の導入などの研究費が、世界に比べて少ないことが、前述のランキングにも影響してきます。また、研究成果は、数年で出る場合もあれば、数十年かかる場合もあ

るため、研究費にも継続性が重要です。

担当大臣としては、10兆円規模の大学ファンドを速やかに立ち上げ、その運用益を生むことにより研究費を捻出し、世界に伍する大学を作りたいと考えています。

### 【宇宙政策担当大臣】



宇宙はフロンティア。過去の手紙にも記した通り、ナビゲーションシステム、天気予報、衛星放送等々、宇宙空間の利用なくして私たちの生活は成り立ちません。また、先日帰還された星出彰彦宇宙飛行士とは国際宇宙ステーションに滞在時、交信をさせて頂きましたが、子供たちに夢と希望を与える世界でもありません。

既に米国などの民間企業が宇宙での事業活動を進め始める中、私も担当大臣として、ベンチャー企業を含む日本企業が宇宙ビジネスに挑戦していくルール作りや環境整備に取り組んでいきます。

最後に、公務のため地元に戻れる時間が限られます。皆様とお目にかかる機会がかなり減ってしまいますが、地元の皆様に国会に送って頂いていることの重みを胸に刻んで、仕事に邁進します。「世界をリードする国へ」。その強い思いを持って全力を尽くしますので、今後ともご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和三年十二月吉日

林 鷹之